

子防プロニュース



大阪市立鶴見橋中学校

学校防災委員会発行

2016.5.30 第2号

こぼう しどう ＊＊＊子防プロ始動＊＊＊ 第1回全体会議 開催 5月11日(水) 放課後

今年度最初の全体会議には、やる気に満ちあふれた36名が集まってくれました！

みんなの熱い気持ちがすごく伝わってきてとてもうれしかったです。全体会議では、東日本大震災から半年後に、鶴中の先輩たちが初めて現地を訪れた時の映像を見ました。現地で見た悲惨な状況、被害の大きさを目の当たりにして先輩たちが感じたことを知り、改めて防災活動の必要性を学びました。

今年度の取組の一つでもある勝間南瓜の苗植えの募集では、みんなが積極的に手を挙げてくれ、なんと1年生は全員手を挙げてくれました！これからもその積極性を大事にして頑張ってほしいと思います。

2、3年生も今後の活躍を期待しています！

こぼう つるちょうせい つるちょうせい ちいき
子防プロから鶴中生。鶴中生から地域に……。



2016年度
=子防プロ結成=

ひきいちさ きぼうひかり 被災地で咲いた 希望の光

～鶴中ひまわりプロジェクト～

1年生：「はるかのひまわり」

平成7年1月17日午前5時46分、阪神淡路大震災が発生。木造の建物は完全に押しつぶされ、そこではるかやんが見つかりました。その半年後、驚いたことに、はるかちゃんの亡くなつたその場所にたくさんのがひまわりが「力強く」太陽に向かって咲いていました。お母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりになって帰ってきた」と涙し、近所の人たちはこの花を『はるかのひまわり』と呼びました。

2年生：「大川のひまわり」

平成21年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生。宮城県の大川という地域も津波の被害に遭いました。大川の福地地区では6人の子どもが命を落とし、その幼い死に対し、地域の人も悲しみを隠しきれませんでした。震災後、この地域一帯は、津波の影響で植物が極めて育ちにくい塩害に悩まされていましたが、ある日、6輪のひまわりが咲きました。6輪のひまわりはそれぞれ種類が異なっていて、このひまわりはまさにその亡くなつた子どもたちだと誰もが確信したといいます。

この2つの被災地で咲いたひまわりの種を、鶴中では譲り受けで育てています。開花後の種は次の学年へつなげ、そして地域の方々や校区小学校、その他多くの小中学校につなぎ、復興の輪を広げていけたらと願い、取り組んでいます。

なきょうのこぼたんな 5/21 子防プロは大阪市の伝統野菜

である勝間南瓜の苗植えをしました。その時に「勝間南瓜普及の会」の辰巳久子さんにきていただきました。

勝間南瓜は日持ちがよいで「防災食に欠かせない野菜」です。収穫時期は8月。大きく育つまで愛情をたっぷり注いで「あけよろ」と思いました。

